



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1692号

事務所 静岡県三島市大社町17-4
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL(055)972-2122
会長 亥角 裕巳 幹事 井上 幸子



広重版画より 三島 朝霧

第1754回例会

2008.7.17晴

司 会

森崎祐治君

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
指揮 前田房江君

会長挨拶

副会長 岩崎守幸君

世界の国々には、織物のような性質があって、伝統文化を経糸として、それに海外からの渡来文化を緯糸に織り込んで来たのではないのでしょうか。数ある国の中には、宗教やイデオロギーが強く、経糸が太く手触りも粗く、よそ者にとって着心地が良くないという織物もある。その反対に経糸も緯糸もほどよく精練されてから織り込まれた布地のよう、こちらさえその気になればしっとりとした肌合いの国というものもあります。そんな事を考えていたら、私たちが織物みたいなものではないかと思えます。遺伝子の配列はもとより、先祖伝来のような家風の歴史が経糸で、学問や仕事の上での人間関係が緯糸であると、言ってみれば人それぞれ人生という素晴らしい織物を拝見してきたわけです。今後も三島西ロータリークラブという素晴らしい織物を身に付けて私も人生の賞味期限を出来る限り延長するため、修養したいと願っておりますので、今後も、ご指導とご鞭撻を節にお願い申し上げます。

“こんにちは、ようこそ”

ビジター 大庭治美君(三島RC)

-以上1名-

おめでとう

会員誕生日 矢岸君
入会記念日 鈴木(貞)君

出席報告

	出席総数	出席率	メ ア ッ ク ブ	修 出 席 正 率
前々回	44/53	83.02%	49/53	92.45%
今 回	45/51	88.24%	会員総数	54名

欠席者 勝間田君、佐野君、鈴木(郁)君、鈴木(敏)君、千葉君、柳田君

幹事報告

幹事 井上幸子君

- ①本日、前年度会計報告がございます。又、クラブ協議会です。各委員会委員長様よろしくお願ひします。
- ②7月13日(日)地区ロータリー財団セミナーが静岡にて開催されました。諏訪部敏之委員長に出席していただきました。ポリオ撲滅資金への協力、よろしくお願ひいたします。
- ③直前ガバナー事務所より、1年間の反省と諸々の事業目標達成への協力についてお礼状が届いております。
- ④7月27日(日)会員増強セミナーが開催されます。矢岸克行委員長に出席していただく予定です。

2008~2009年度
国際ロータリー会長
李 東建(D.K.Lee)

夢をかたちに

クラブ協議会

S.A.A. 花房孝光君

三島西ロータリークラブの伝統と今年度基本方針を重視し、和やかで規律ある例会になるよう心掛ける。

- 1.例会進行を効率的にするために、幹事との事前打合せをする。
- 2.定例5分前の案内と時間厳守の呼びかけをする。
- 3.テーブル配置の変更は3ヶ月に1度、年4回とする。
- 4.会場変更時には、事前打合せをし、早めの準備をする。

会員増強維持委員会 委員長 矢岸克行君

ロータリー情報・会員増強・会員選考・職業分類委員会の4委員会がひとつの委員会になりました。全体としてひとつの流れの中で、クラブ会長の基本方針に沿いながら活動して行きたいと思います。

〈活動計画〉

会員への情報提供をはじめ、常に新しい若い活力と魅力あるクラブにするために、会員増強を計り、併せて、会員選考・職業分類についても考え、新しい委員会として活動する。

奉仕プロジェクト委員会 委員長 遠藤正幸君

奉仕プロジェクト委員会は、CLPの導入で3つの奉仕部門を受け持つこととなりました。今年度は、それぞれの部門を設け担当を決めさせていただきました。基本方針としては、亥角会長が掲げたCLP導入に向けての「4つの長期計画」に基づき以下とします。

- 1.社会奉仕部門 担当:千葉慎二
苗栗の苑の整備 献血(8月23日) 見晴フェスティバル(10月5日)の支援 富士山緑化(ボランティアによる下草刈、親睦委員会とジョイントで家族親睦会の実施)
- 2.職業奉仕部門 担当:矢野敏夫
職場見学 職業指導
- 3.国際奉仕部門 担当:野田和秀
GSE受入れの協力 姉妹・友好クラブの交流事業の支援 三島市国際交流協会への協力

ロータリー財団米山委員会 委員長 諏訪部敏之君

米山委員会は、次の2項について会員各位にご協力をお願いしたいと思います。

- ①米山記念奨学会事業推進のために一人当たり年間10,000円の寄付。
- ②米山記念館の運営について地元である第2分区のクラブとして特別の関心と献身的な奉仕活動。
尚、米山月間である10月は米山記念館及びそれに関わる事業について会員各位に理解を深めて頂くために、例会場を記念館に変更して16日に行います。

ロータリー財団委員会

- ①ロータリー財団寄付目標を達成するべく会員各位に下記の寄付協力をお願いする。
・年次寄付:地区目標US\$100/人・年
・恒久基金寄付(ベネファクター):地区目標1名以上②会員各位に「財団の友」になって戴くようお願い する。年次寄付100ドルを取めて戴ければ自動的に財 団の友になります。
- ③ポールハリスフェローの増員に努めると共に、フェ ローの会員にはマルチプルを、マルチの会員には3 回目を目指して戴くようお願いする。
- ④ポリオ撲滅基金活動として、地区目標一人年間23ドルの依頼が来ております。受付に赤いポストを置いておきますので、皆様の寄付をお願いします。例会 毎に100円を入れて下されば約7ヶ月で目標を達成し ます。
- ⑤11月のロータリー財団月間には財団に対する卓話を行い、会員各位の理解を深めるように努める。
尚、米山、ロータリー財団への寄付は、会員各位の好意にお願いするものであり、決して強制するものでないことを申し添えます。

クラブ広報委員会 委員長 勝間田信輔君

- 他の委員会と連携しロータリー活動を地域社会の方々に知っていただくための効果的広報活動を展開する。
 - 会員のロータリーへの理解を深めてもらうために「ロータリーの友」の必読を推進する。
 - 会報を発刊しロータリー情報の共有化をはかる。
- 〈活動計画〉
- 1.会報の発刊
 - 2.記者との懇談会
 - 3.ロータリーの友へ掲載する記事を依頼
 - 4.ITを利用した広報活動
 - 5.マスコミへの積極的な情報提供

クラブ管理運営委員会 委員長 遠藤真道君

今年度はCLP導入により委員会組織が少なくなった関係で卓話の回数がかなり多くなりましたが、会員各位の素晴らしい卓話が聞かれる事を期待します。
出席につきましては、一人一人がロータリーの基本に則り、まず出席をしていただく事が第1だと思います。出席なくして親睦は生まれません。

〈活動計画〉

- ①年間出席率100%の会員に記念品を贈呈する。
- ②出席率が低い会員には、スポンサーより出席を促す。
- ③外部卓話を避け、自分のPRに努める。
- ④卓話変更の会員は1ヶ月前に委員会に変更報告する。
- ⑤IT推進を積極的に行う。

紙面の都合で残りの委員会及びスマイルは次号に掲載します。
(週報担当:瀬川幸信)